

2023年8月4日  
株式会社紀伊國屋書店

## 「2023年本屋大賞」「第10回高校生直木賞」「キノベス! 2023」で1位に輝いた 風良ゆう著『汝、星のごとく』(講談社刊)の紀伊國屋書店特装版を発売

株式会社紀伊國屋書店(代表取締役会長兼社長 高井 昌史)は、2023年本屋大賞、第10回高校生直木賞を受賞し、紀伊國屋書店スタッフが全力でおすすめるベスト30「キノベス! 2023」においても1位に選出された風良ゆう著『汝、星のごとく』(講談社刊)の紀伊國屋書店特装版を、同作が刊行1周年を迎える2023年8月6日に、紀伊國屋書店 国内店舗(洋書専門店を除く)・ウェブストア(店舗受取サービス対象外)にて一斉発売いたします。

『汝、星のごとく』(講談社刊)の書籍に、紀伊國屋書店オリジナルカバーと帯を巻いた特別仕様で、付属品にもこだわり、物語のラストで登場する同名の作中作『汝、星のごとく』を、可能な限り忠実に再現いたしました。

デビュー15周年となる風良ゆうさんへのお祝いを込めて、コレクターズアイテムとも言える一冊をお届けいたします。



この愛は  
あまりにも切ない。

青埜 權

俺は自分を  
切り売りすることしか  
物語を創れなかった。  
いつしか空っぽになった俺は、  
自らの欠片を求めて  
彷徨い歩いた。  
もう一度、あの海で  
見上げた一番星を  
探すために――

薫風館

## ■ 『汝、星のごとく』紀伊國屋書店特装版 仕様

J A N : 4523215269230

発売日 : 2023年8月6日(日)

価 格 : 本体 2,100 円 (税込 2,310 円)

セット内容 ・ 風良ゆう著『汝、星のごとく』(講談社刊)

- ・ 紀伊國屋書店オリジナルカバー、オリジナル帯 (青塾襷バージョン)
- ・ 二階堂絵理が暁海に宛てて書いた一筆箋
- ・ 薫風館 二階堂絵理の名刺
- ・ 風良ゆうデビュー15周年コメント入りオリジナル葉

詳細はこちら <https://store.kinokuniya.co.jp/event/1690510694/>

## 【著者の風良ゆうさんより『汝、星のごとく』紀伊國屋書店特装版へのコメント】

長い間、小説はひとりで書くものだと思っていました。

ある意味それは正しく、けれど書いた先にはたくさんの仲間がいました。

担当編集者さんをはじめ出版社のみなさん、作品を書いて、練って、作ったその先にはさらに、読者さんに物語を届けてくれる書店員さんたちがいました。

特装版『汝、星のごとく』を企画してくれた書店員さんは、「ぼくはこの物語と心中する覚悟です」と言ってくれたのです。

それほどの気持ちで、この物語を多くの読者さんへ届けたいと一。

作家としてこれほど嬉しくて頼もしい言葉はありません。

デビューして今年で15年目。節目の年に作られた特別な一冊が、この物語を愛してくれる読者さんにも同じく特別な一冊になりますように。

## ■ 著者プロフィール

風良ゆう (なぎら・ゆう)

京都市在住。2007年に初著書が刊行され本格的にデビュー。BLジャンルでの代表作に連続TVドラマ化や映画化された「美しい彼」シリーズなど多数。17年に『神さまのビオトープ』(講談社タイガ)を刊行し高い支持を得る。19年に『流浪の月』と『わたしの美しい庭』を刊行。20年『流浪の月』で本屋大賞を受賞。同作は22年5月に実写映画が公開された。20年刊行の『滅びの前のシャングリラ』で2年連続本屋大賞ノミネート。『汝、星のごとく』が、第168回直木賞候補、第44回吉川英治文学新人賞候補、2022王様のブランチBOOK大賞、キノベス!2023第1位、そして23年、2度目となる本屋大賞受賞作に選ばれた。

■ 『汝、星のごとく』あらすじ

風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた櫛。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。生きることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者が紡ぐ、ひとつではない愛の物語。

これからも紀伊國屋書店は、文化・芸術・情報の発信拠点として様々な企画を提供し、本好きのお客様の豊かな読書生活を応援してまいります。

---

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 紀伊國屋書店 総務部 広報担当 [info@kinokuniya.co.jp](mailto:info@kinokuniya.co.jp)